

第4章 【子供たちが自らの学びをデザインできるようにする取組】実践例

県学力・学習状況調査の結果を受けて、習熟度別の進め方と学習プリントの工夫を行い、生徒に能動的に学び続ける態度を育成する取組 ～山鹿市立鹿北中学校（3年英語科）～

生徒一人一人の知識・技能の習熟状況を把握した上で、授業途中で習熟度別に分け、自分に合ったペースで課題解決に取り組んでいる。また、学習プリントを2種類（ヒントありのものとなしのもの）準備し、生徒が選択している。



【教室を前後に分けて、習熟度別学習を行っている様子】



【タブレットを活用し、自主学习】



【自主学习後、教師及びALTが点検】



学習内容や習熟状況により、授業の途中で習熟度別コース（基礎・発展）に分かれます。
基礎コースでは、アドバイスを受けながら問題を解きます。教師は生徒のつまづきを指摘し、生徒自身の気づきを促します。

発展コースでは、タブレットのガイドに沿って問題を解き、終了後に教師及びALTの点検、指導を受けます。

学習プリントを2種類準備し、学習意欲の向上を図るため、生徒が選択します。

最後にまとめと振り返りを全体で行います。

県学力・学習状況調査結果（個人票）から見える自分の課題を知り、課題解決に向けた自主学習等につなぐ取組 ～山江村立万江小学校～

児童一人一人が学習計画書「くまもっと！べんきょうもっと！計画書」を作成することを通して、自分の課題を認識するとともに、取組が必要な単元や問題に自主的に取り組む。

くまもっと！べんきょうもっと！計画書
()年()番 名前()

ここをもっと！（目標）

どうやって（手立て）

ふりかえり

ふりかえり

くまもっと！べんきょうもっと！計画書
()年()番 名前()

算数 今年の算数のテスト結果をここにはる。

ここをもっと！（目標）

どうやって？（手立て）

ふりかえり

県学力・学習状況調査結果の個人票を、担任と児童と一緒に考察し、課題を明らかにして計画書に書き込んでいます。また、算数科では、各単元の成績を貼るようにし、特にどの単元に取り組めばよいかわかるようにしています。児童は、朝自習、学力充実の時間及び家庭学習で、克服プリントやデジタル問題（eラーニング及びNAVIMA）等、個別の学習に取り組んでいます。「振り返り」を定期的に行うことで、主体的な学びにつなげるとともに、自分の成果と課題を認識し、自ら計画して学習する意識を高めるようにしています。

国語

昨年の学力テストの結果をここにはる。

小学校 年国語		232311 010	
問題の内容	正答率（％）		評価
	あなた	目標値	
話し合いの内ようを聞きとる		81.7	○
かん字を読む		87.5	△
かん字を書く		76.3	○
ことばの学しゅう		65.0	△
ものがたりの内ようを読みとる		78.3	△
せつ明文の内ようを読みとる		63.3	◎
あんないの手紙を書く		55.0	△
作文		56.3	△

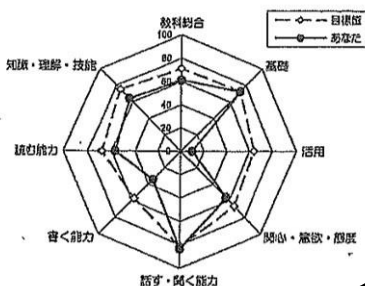
◎…たいへんよくできました ○…よくできました △…もう少しがんばりましょう

★国語はもう少しがんばって、とくいな教科にしましよ。下のアドバイスを読んで、これからの学しゅうにやく立てましよう。

◆ものがたりの内ようを読みとるもんだいは、もうひといきでした。増めんのようすを思いうかべながら、話のすじをきちんと読みとりましよう。

◆せつ明文の内ようを読みとるもんだいは、よくできました。文しゅうのつながりを考えながら、中心に書かれていることを読み取ることができました。

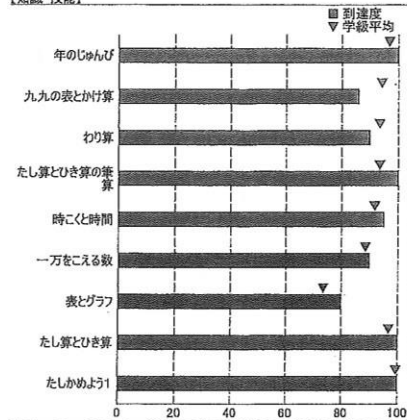
◆あんないの手紙を書くもんだいは、もうひといきです。お知らせの内ようと手紙の文をよく読んで、ぬけていることがないかたしかめましよう。



算数

今年の算数のテスト結果をここにはる。

目標推移グラフ
【知識・技能】



【思考・判断・表現】

